



ニュージャーニー 補習校通信

土曜日は日本の教育を

幼児部学習発表会

十四日、幼児部では学習発表会を開きました。多くの保護者の方々にご参観いただきありがとうございました。そら組、にじ組、さくら組、すみれ組、どの組もこの日のために



お絵かきが上手になりました。
すみれ組の作品

テーマを決め、作品を作り、お遊戯の練習をしてきました。年中さんは4月に入学してか



らの成長を、年長さんは「おにいさん、おねえさん」らしさを感じた発表会でした。

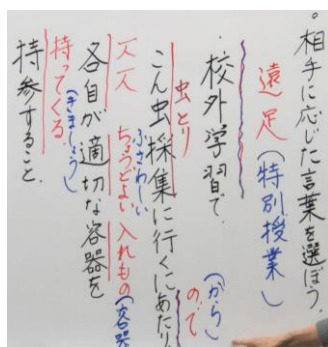
右の写真は「宇宙」をテーマにしたそら組のお遊戯「空飛ぶユーフォー」です。

相手に応じた言葉を選ぶ

初等部五年一組の国語の授業では、「校外学習で、こん虫採集に行くにあたり、各自が適切な容器を持参すること。」というお知らせを初等部一年生の弟や妹にわかる言葉にかえるという授業を行っていました。

分かりやすい言葉に置き換えた表現を出

し合い文を作る授業です。校外学習を遠足と言いついてよいのか等の意見が出て、言葉を考える機会となりました。この授業を見ていて感じたのは、「敬語」です。五年生に限らず先生との



の会話が、友達に話しているような話方になつてしまつてしまふ子供達が多いように感じ

ます。校長である私も児童から「それなに」と聞かれてついつい返事をしてしまうことがあります。目上の人への話し方として、「それは何ですか」と言いましようかと、教えるべきだったと思います。冬休み、ご家庭でも敬語で話すことを話題にされてはいかがでしょう。良いお年をお迎えください。

第三十一号
令和元年
十二月二十一日
発行